

ごうつ

# 市議会だより

石見智翠館高等学校 和田峻之介



2026.5  
No.167

われら元気な智翠生！（江津市内4中学校の出身生徒）



# 令和8年度 一般会計予算

市長改選の年であり、継続事業を除く政策的経費は改選後補正予算での対応となるが、事業の実施に支障をきたすものは計上し、編成。

令和8年度 一般会計・特別会計予算	
一般会計	198億4500万円
特別会計	
国民健康保険事業	29億7663万円
国民健康保険診療所事業	154万円
後期高齢者医療事業	9億3220万円

公営企業会計	収入総額	支出総額	
水道事業	収益的収支	7億8656万円	7億6321万円
	資本的収支	3億7493万円	5億7840万円
下水道事業	収益的収支	8億7446万円	8億7166万円
	資本的収支	8億3461万円	8億6208万円

## 地域医療支援対策

地域医療拠点病院が行う経営安定化や医療従事者確保などの取り組みに対し、財政的支援を行う

**2億2576万円**

委員質疑

- 問 予算における交付税措置や補助などの配分は。
- 答 過疎債を2530万円、特別交付税を1億3278万円と見込んでいる。

## 定住促進総合対策

新婚夫婦などに対し、婚姻に伴う費用の一部を補助または、お祝い金を交付する「結婚等新生活ごうつ暮らし応援事業」を新たに盛り込む

**3745万円**

委員質疑

- 問 「結婚等新生活ごうつ暮らし応援事業」の目標は。
- 答 補助金が37件、お祝い金が23件。

## カーボンニュートラル推進

脱炭素社会の普及啓発を図るための補助金などの経費

**1億7632万円**

委員質疑

- 問 52(ごうつ)未来プロジェクト実行委員会への補助金の用途は。
- 答 公道カートレースを含むGX推進イベントの各種経費。

「カーボンニュートラル」とは  
温室効果ガス(主に二酸化炭素)の排出量と吸収量を差し引きゼロにすること

「GX」とは  
脱炭素を進めながら、新しい技術や仕組みで経済を活性化させる変革のこと

## 持続可能なコミュニティづくり推進

市内地域コミュニティ交流センター配置エリアを基本として、まちづくり協議会などが実施する事業の経費などを交付

**800万円**



都治地区コミュニティ協議会「つる工房」

## 仮称西部統合小学校建設

校舎および屋内運動場の建設

…………… 20億3816万円

上下水道配管工事 …………… 1500万円

ZEB化支援業務委託 …………… 581万円

など

**21億1561万円**

### 「ZEB化」とは

建物の断熱化などの省エネと、太陽光発電などの創エネを組み合わせ、エネルギー消費を実質ゼロにすること

## 防災減災対策

激甚化・頻発化する災害について、防災減災の取り組み、地域防災力の強化促進を図ることで、市民の生命・身体・財産を守る

**3416万円**

### 委員質疑

**問** 被害想定区域や避難所などの変更の周知と防災意識高揚への取り組みは。

**答** 令和8年度に防災マップを作成し、令和9年度に配布と周知・防災意識高揚の取り組みを行う予定。

## 私立保育所施設整備補助

施設整備に対し補助金を交付し、安心して保育ができる環境の整備を促進

・さくらこども園 …………… 2247万円

・認定こども園のぞみ保育園 …………… 1097万円

**3344万円**



改修予定の「さくらこども園」トイレ

## 落石対策

市道落石対策工事（川平平床線）

**5770万円**

### 委員質疑

**問** この工事が完了すると、対策済みはどのくらいになるか。

**答** 要対策84カ所のうち対策済みは23カ所となり、進捗率は27%。

## 橋梁長寿命化

「江津市橋梁長寿命化修繕計画」により、橋梁の補修・点検を行う

- ・新江川橋補修工事（渡津町）
- ・大浜橋補修工事（二宮町）
- ・エビス橋補修工事（浅利町）
- ・水尻橋補修設計業務（都野津町）
- ・橋梁定期点検 24橋

**2億6900万円**



## 放課後児童クラブ

保護者が労働などで昼間家庭にいない小学校の児童に対し、適切な遊び・生活の場を提供して健全な育成を図る

**1億2689万円**

### 委員質疑

**問** 定員オーバーや、待機となる見込みは。

**答** 定員オーバーは1カ所で1人の予定だが、受け入れ可能。また、待機となる見込みはない。

# 令和7年度 一般会計補正予算(第8号)

承認

2月8日に実施された第51回衆議院議員総選挙の執行に伴う補正。

予算額 **2135**万円(補正後総額196億5483万円)

令和8年第1回定例会

# 令和7年度 一般会計補正予算(第9号)

可決

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業や、仮称西部統合小学校建設事業に関するもの、および各事業の決算見込みから計上。

予算額 **▲3884**万円(補正後総額196億1598万円)

## 定額減税調整給付金

事業の実施確定による減額

**▲5847**万円

## 浜田地区広域行政組合負担金

介護保険・ごみ処理負担金

**▲7558**万円

## 通学路整備

赤羽根団地8号線  
道路改良工事

**3544**万円



## 物価高騰対策

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民1人あたり2万円分の地域応援券を配布

**4億4119**万円

委員質疑

問 7月に応援券を開始する理由は。

答 提供できる時期が、最短で7月1日開始となるため。

## 水道事業会計出資金

管路の耐震強化事業における「上積み事業費」について出資

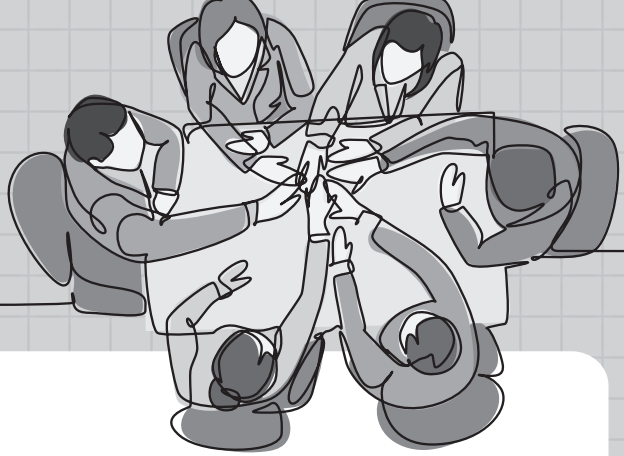
**4318**万円

## 仮称西部統合小学校建設

敷地造成工事

**5000**万円

# 委員会 ピックアップ



## 総務民生委員会

### ●市議会議員の議員報酬等に関する条例(一部改正)

江津市特別職報酬等審議会からの答申(令和7年12月8日)を踏まえ、議長・副議長・議員の報酬月額を改定するもの  
(施行日:議員の次の任期から)

委員質疑

問 報酬が増額することに対して、他の予算が削られることがあるのか。

答 予算全体の中で、調整していく。

### ●市立保育所条例(一部改正)

「こども誰でも通園制度」の開始に伴い、条例に当該事業と利用料の規定を追加するもの

委員質疑

問 利用料金は1時間あたり、いくらになるのか。

答 月上限10時間まで、1時間標準300円で保育施設へ預けることが可能となる予定。

## 建設経済委員会

### ●中小業者の持続可能な未来と地域経済の崩壊阻止を求める(陳情)

国の「物価高騰対応重点地方交付金」を最大限に活用し、中小業者が事業を継続できるよう、速やかに検討・実施することを求めるもの

委員質疑

問 事業承継について、他業種を含めた事業者間の交流の取り組みは、どのようにしているか。

答 情報をオープンにしづらく、事業者間の交流会などに出ただけかは不明だが、そういう機会がある場合は、情報発信をしていきたい。

### ●国民健康保険条例(一部改正)

国民健康保険法施行令などの改正に伴い、子ども・子育て支援納付金の賦課・徴収、および賦課限度額・保険料軽減基準額改定などを行うもの

委員質疑

問 県内の他市も、同じような改正になるのか。

答 国民健康保険法施行令の改正に基づいて行われるため、県内の他の市町村も同様と想定している。

# 本会議における賛成・反対意見

承認第2号

## 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例(専決処分報告)

承認

反対 多田 伸治

この専決処分は、4月から始まる「こども誰でも通園制度」での運営基準を定めるものだが、通常の保育と異なり、なじみのない場所でのなじみのない子どもを預かるほか、保育士資格がない人員が保育にあたることも可能であり、安全性の問題がある制度であるため、保育の充実が必要という大前提があっても、子どもの安全を守る立場から反対。

陳情第1号

## 中小業者の持続可能な未来と地域経済の崩壊阻止を求める

不採択

反対 坂手 洋介

陳情は地域の経済基盤を支える中小業者が、事業を継続できるような施策を検討・実施することを求めるもの。本市としては、市民全員に1人あたり2万円の地域応援券を配布する事業が、令和7年度補正予算で計上されている。また、信用保証料補助金や、庁内のDX化などの施策を実施している。今後の情勢を注視する必要はあるが、現在できる支援を行っており反対。

賛成 多田 伸治

陳情は、市内の中小業者の苦境を訴え、事業継続が可能となる施策の検討・実施を求めるもので、将来を見通せない状況に対し、市内経済を下支えする中小業者の視点から、経営継続のために必要な行政の対応が挙げられている。市議会として、市行政の取り組みを後押しし、助けを求める事業者へ「一緒にがんばろう」という姿勢を見せるためにも賛成。

議案第2号

## 市長等の給与に関する条例(一部改正)

可決

反対 多田 伸治

条例案は、市長・副市長・教育長の給料月額を増額するもので、年間の歳出増は3人の合計で417万円にも上る。これまで市長は「財政に余裕はない」と言っていたのに、この歳出増は可能としており説明に矛盾がある。過去の給料減額分を元に戻すとの説明もあったが、それなら過去の市民への負担増を元に戻すのが道理であり、身勝手な増額であるため反対。

賛成 河野 正行

市長・副市長・教育長の給与は、平成18年度に引き下げたから約20年そのままの状態。近年、さまざまな物価などが上昇している状況であり、令和7年12月8日の江津市特別職報酬等審議会からの答申を踏まえたものであり、この議案に賛成。

議案第3号

## 市議会議員の議員報酬等に関する条例(一部改正)

可決

反対 多田 伸治

条例案は、市議会議員の報酬月額を増額するもので、5月の市議選後の定数14に換算すると、年間の歳出増は1346万円に上る。しかも、現在の16人と改選後の14人と比較しても353万円の増額であり、定数削減での「財政事情を考慮」との理由とも矛盾する。市長の「財政に余裕はない」との説明を認めながら、自らの報酬を増額させるのは、市民への裏切りであるため反対。

賛成 藤間 義明

議員報酬は県内8市において最も低い水準にある。議会活性化や議員活動に専念するため、また若い世代の人が手を上げやすい環境を整備し、資質向上のためにも報酬を引き上げる必要がある。また、この度2名の定数減を受け、減額前に戻したうえで近隣市との均衡を考慮し、プラスの報酬改定が必要との江津市特別職報酬等審議会の答申を尊重したものであり賛成。

反対 植田 好雄

議員報酬引き上げを否定はしない。しかし今回の改定は過去の経緯や議会の意思形成、説明責任の観点から合理性を欠き、納得できる材料が示されていない。財政状況も依然厳しく、令和4年に議会が求めた減額前に戻す引き上げを認めなかった判断との整合性もなく、議員定数削減を前提とする議論は議会力を弱め、本質を外している。まずは減額前の報酬へ回復させ、政務活動費の拡充こそが議員活動の実効性を高め、市民利益につながると考え反対。

反対 植田 圭介

反対理由は、議員報酬の金額ではなく、決定に至るまでの手続きの正当性。理由は3点。①議会は、議員報酬は議論しないと合意し議長へ報告した。しかし執行部主導で審議会へ諮問された。②審議会は県内8市で唯一の秘密会。また、前回は議会で7回議論したが、今回は経過から議論できていない。③審議会の答申のみで議決判断を求められている。以上3点をまとめると議会・審議会・執行部、個々の対応には問題ないが、組み合わせにより「見えない過程と議論なき議決」となっており、議会として市民へ説明できないため反対。

# 本会議における賛成・反対意見

## 議案第7号 | 市立保育所条例(一部改正)



### 反対 森川 佳英

条例案は、4月から始まる「こども誰でも通園制度」での設備や運営の基準を定めるものだが、利用には1時間あたり300円程度と少なくない負担が必要な上、通常の保育と異なり、なじみのない場所でなじみのない子どもを預かる安全性の問題がある制度であるため、保育の充実が必要という大前提があっても、子育て支援の理念に逆行するため反対。

### 賛成 森元 健二

この条例改正は、子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に併せ、乳児等通園支援事業の開始に伴い、条例に当該事業と利用料の規定を追加するものであり、本市保育所でも当該事業を実施するために必要であると考えるので賛成。

## 議案第8号 | 国民健康保険条例(一部改正)



### 反対 森川 佳英

条例案は、国民健康保険料へ「子ども・子育て支援納付金」を加算する枠組みをつくるとともに、賦課限度額引き上げを行うもの。国保には物価高騰に苦しむ所得の低い層が加入しているのに、医療に無関係な子育ての負担を押し付け、保険料を増やすもので、賦課限度額引き上げは富裕層ではない中間層への過重負担となる。実質的な増税であるため反対。

### 賛成 鍛冶 恵巳子

この度の改正は子ども・子育て支援金制度の開始に伴うもの。この制度は、令和8年4月から始まり、財源確保制度で医療保険料に上乘せする形で徴収される。児童手当・こども誰でも通園制度・育児休業給付などが拡充され、還元される。社会を支える若い世代を育むという支え合いの循環を維持する点から、独身の方、高齢者の方すべての世代に加え、企業も含めた社会全体で支える仕組み。必要な改正であるため賛成。

## 議案第22号 | 令和8年度 一般会計予算



### 反対 森川 佳英

計上されている事業には、目標設定が欠如した事業が多く、市長選前の必要最小限の予算のはずが計上は過去最大で、カーボンニュートラル推進事業やデジタルプロモーション事業などの不要不急の事業が乱立。市長や議員の給料・報酬増額も計上されている。しかも、有利な財源とは言え、借金である過疎債の借入残高が100億円を超えるなど、将来へツケをまわすものであり反対。

### 賛成 寺前 克宏

令和8年度は市長改選の年であり、予算編成は骨格的予算。歳入歳出の総額は198億4500万円で過去最大となる。主な事業は、仮称西部統合小学校建設事業の本格着工や令和12年開催予定の国民スポーツ大会にむけた公園施設の改修と長寿命化、橋梁長寿命化事業などのインフラ整備、物価高騰対策のための学校給食費の補助、「結婚等新生活ごうつ暮らし応援事業」などの定住対策。また、2050年までのゼロカーボンシティ実現促進のためのカーボンニュートラル推進事業や公共施設一括LED化事業など、バランスの取れた予算配分になっており賛成。

### 反対 多田 伸治

税收から市内経済を分析すべきだが、情報を無駄にしている。旧庁舎や旧市民会館の後始末をしない。単発イベント・公道カートレースに説明不能の税金を投入。生活交通の充実がない。医師・看護師確保の目標がない。街路灯の新設がない。中心市街地での都市計画の扱いがぞんざい。危険空家対策や住宅耐震化へのやる気がない。国スポの総事業費を明らかにしない。図書館整備を進めない。市長が掲げる目標にさえ沿っていないため反対。

# 本会議における賛成・反対意見

## 議案第23号 | 令和8年度 国民健康保険事業特別会計予算

### 反対 森川 佳英

国民健康保険なのに、本来の目的とは異なる「子ども・子育て支援納付金」での1000万円超の負担増が盛り込まれており、保険制度の根幹を揺るがすものとなっている。国保加入者には自営業者や非正規雇用労働者・無職の人・年金生活者など、所得の低い層が多く、負担増により生活が圧迫されることになるため反対。

### 賛成 坂田 優美

歳入歳出予算の令和7年度比較が減額になった要因は、システム標準化の終了に伴い、係る経費が減ったこと、被保険者数の減少で県へ納める納付金が減額となったこと。一時借入金は、歳出予算からの借入限度額を4億円に定めるもの。歳出予算の流用については、保険給付費の各項に計上された予算額に過不足が生じた場合、同一款内であれば流用を認めるもの。これらを審査した結果適正であると判断し賛成。

可決

## 議案第25号 | 令和8年度 後期高齢者医療事業特別会計予算

### 反対 森川 佳英

後期高齢者医療保険なのに、「子ども・子育て支援納付金」での負担増が盛り込まれ、保険料が引き上げられる。戦争により物価高騰へ拍車がかかるなかでの保険料値上げは生活を直撃する。子育て費用の負担を高齢者に求めれば、世代間の不公平感を深め、社会保険制度の信頼を損ねる。現役世代の賃金上昇のような収入増が見込めない高齢者への負担増は、経済的な医療抑制につながるため反対。

### 賛成 下谷 忠広

この制度は、県内全ての市町村が加入する島根県後期高齢者医療広域連合が主体となって運営しており、高齢者が医療サービスを受けるため、広域連合納付金をはじめ、被保険者証の発行、保険料徴収、申請届出などの受付業務、人件費、事務費などが計上されている。これらは、高齢者が医療サービスを受けるため、市の業務を行うには必要な予算。審査において、資料などの確認をした結果、本事業は目的達成のためいずれも適切に予算配分されていると判断し賛成。

可決

## 議案第26号 | 令和8年度 水道会計予算

### 反対 多田 伸治

高過ぎる水道料金の原因である「県から買う水の単価」が、令和8年度は引き下げられるのに、市民への還元がない。また、物価高騰に苦しむ市民に対して負担軽減するべきだが、カーボンニュートラル推進事業やデジタルプロモーション事業のような不要不急の事業、市長や議員の給料・報酬増額はあるのに、水道会計への繰り入れがない予算案となっているため反対。

### 賛成 渡辺 信明

水道事業は、市民生活の安定に必要な「インフラ」の一つであり、市民生活の安全で快適な暮らしを守るために、その維持管理は、必要不可欠で、事業の継続性も欠かすことができない。本予算の予定損益計算書によると、一般会計からの補助はあるものの、当期純利益が黒字計画となっており、事業の継続性が担保されている。また、設備の更新工事を計画的に実施するなど、水道事業を維持管理するために必要な予算措置もなされており賛成。

可決

## 議案第27号 | 令和8年度 下水道事業会計予算

### 反対 多田 伸治

下水道の管渠整備のため3億5050万円が計上され、それを支えるために一般会計から2億5090万円が下水道会計へ繰り入れられる。環境対策としては、下水道の整備よりも、浄化槽整備のほうが財政負担が軽く、関係する市内事業者の仕事おこしにもつながり有益だが、下水道での無駄な大型公共事業を続けている。財政負担と市民への再配分で合理的判断ができていないため反対。

### 賛成 渡辺 信明

水道事業と同様に、下水道事業も市民生活の安定に必要な「インフラ」の一つであり、同様に、その維持管理および事業の継続性は欠かすことができず、河川の水質維持においても必要。本予算の予定損益計算書によると、一般会計からの補助はあるものの、当期純利益が黒字計画となっており、事業の継続性が担保され、管渠整備は、効率的に処理可能な範囲について実施し、接続戸数を約100戸増加させる計画となっている。その他にも設備更新工事を計画的に実施するなど、下水道事業を維持管理するために必要な予算措置もなされており賛成。

可決

議決結果【第1回議会定例会】			森元健二	植田圭介	渡辺信明	坂田優美	寺前克宏	下谷忠広	坂手洋介	植田好雄	鍛治恵巳子	多田伸治	山根兼三郎	森川佳英	藤間義明	森脇悦朗	河野正行	石橋孝義
議案番号	件名	議決結果																
同意第1号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	功労者の選定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第1号	専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第1号	江津市防災行政用無線戸別受信機分担金徴収条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第3号	江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第4号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	江津市立保育所条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第8号	江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第9号	江津市集会施設及び研修施設設置条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	江津市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	江津市生活バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	江津市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	江津市公的住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	江津市立小学校等設置条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	江津市桜江体育施設設置条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	江津市過疎地域持続的発展計画を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	辺地に係る総合整備計画を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	辺地に係る総合整備計画の変更について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	工事請負契約の締結について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	工事請負契約の締結について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	財産の無償譲渡について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和8年度島根県江津市一般会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第23号	令和8年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第24号	令和8年度島根県江津市国民健康保険診療事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和8年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第26号	令和8年度島根県江津市水道事業会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第27号	令和8年度島根県江津市下水道事業会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
議案第28号	令和7年度島根県江津市一般会計補正予算(第9号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和7年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和7年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和7年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	令和7年度島根県江津市下水道事業会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	陳情第1号 中小業者の持続可能な未来と地域経済の崩壊阻止を求める陳情	不採択	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	議案第33号 江津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし

# 一般質問

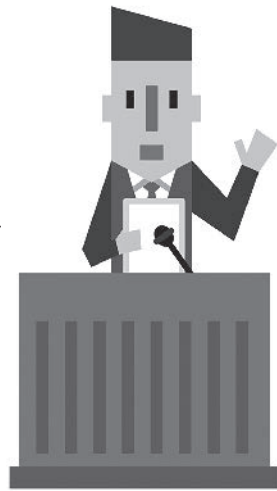
## 市議の

# 市の Q & A

### 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

江津市議会  
公式YouTube  
チャンネル



※一般質問は江津市議会公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しています。各議員の顔写真の右下の二次元コードからも動画の閲覧ができます。また、一般質問の全ての議事録は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」からも見ることができます。(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと  
暮らしやすくするには、  
こうしたらいいな

## Q

本市の人口減少対策は

## A

歯止めをかけるため、江津市版  
総合戦略を実施している

## Q

総合戦略とは。

A. 人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを推進する指針。

## Q

新規創業・新分野進出への取り組みとその結果は。

A. 江津市創業支援事業計画を策定し、関係機関12団体による護送船団方式で、各機関の強みを活かした創業者支援を行い、5年間の目標10件に対して、実績は30件だった。

### 「護送船団方式」とは

強い事業者も弱い事業者もまとめて支え、全体として脱落者を出さないようにする進め方

## Q

情報発信による移住・交流促進は。

A. GO▶GOTSUーフェスを開催し2300人の来場があった



新しい命の誕生

## Q

結婚から妊娠・出産・子育て・再就職の切れ目ない支援は。

A. 各ライフステージに応じた支援を実施している。特に、妊娠・出産は済生会江津総合病院と浜田医療センターで連携し、安心して出産できる環境に努めている。



とうま よしあさ  
藤間 義明



# Q

施設利用時の使用済み紙オムツ  
施設での処理の検討を

# A

持ち帰りの負担は承知  
意見を集め検討材料とする

# Q

保育の質の向上を図るには、  
ソフト・ハード両面の支援が  
必要。幼児教育アドバイザー  
とは。

# A

令和5年度より子育て支援課  
に配置し、幼小連携・接続の  
推進と保育の質の向上に取り  
組む。保育施設での遊びを通  
じた学びと、教育委員会とも  
連携した、小学校での自覚的  
な学びをつなぐ。

# Q

幼児教育アドバイザーの効  
果は。

# A

幼小連携・接続の推進のほか、  
以前は県のアドバイザーに研  
修を依頼していたが、現在は  
本市アドバイザーが施設を回  
り、日々の困りごとにも対応で  
き、やり取りがスムーズになった。  
施設側の意向を踏まえた研修  
もできる。



かじ えみ こ  
鍛治 恵巳子



## 【猫の飼育】

Q 飼い主のいない猫の対策の  
検討はどうなっているか。

# A

本市に地域猫ボランティアがで  
きた。自治会からも支援の要  
望書が提出された。県の地域  
猫活動を支援できるように、関  
係者と協力して取り組む。

# Q

浜田市・益田市と同じく、猫  
の去勢・避妊手術の助成を。

# A

施術後の地域の受け皿が必  
要。状況を踏まえ判断する。



猫たち

# Q

連合自治会の要望書にある  
サンピコごうつの拡張は

# A

基本コンセプトを損なわない範囲で  
取扱商品の拡充などを検討

# Q

サンピコごうつへの実証店  
舗の設置について、ニーズ調  
査をする考えはないか。

# A

共助・公助による役割を考え  
る上でも、地域と協働し、情報  
を共有することは意味がある  
と考える。ニーズ調査について、  
連合自治会と相談したい。

# Q

実証店舗を設置する  
考えはないか。

# A

ニーズ調査を行った結  
果を検証するため、  
実証店舗を設置する  
という手段も段階的  
には考えられるが、現  
時点での必要性は  
判断していない。

## 【のるイコごうつ】

Q 乗降場所に枝番号を  
付けて登録し、利用

**のるイコごうつ**の詳細

**運行区域**

- 波積町全域 ●黒松町 ●都治町
- 後地町 ●浅利町(浅利海水浴場入口バス停留所以東)
- 松川町市村 ●松川町上河戸 ●松川町下河戸
- 松川町上津井 ●松川町畑田

**運行日等**

月曜日から土曜日の  
午前8時から午後5時  
※ただし、国民の祝日(振替休日を含む)  
および年末年始等を除く。

**運用車両台数**

8人乗りミニバン(2台)  
※1台あたり7名まで乗車(乗合)可能

**運賃**

料金区分	料金	条件等
普通料金	1回の乗車につき 400円	乗降場所にJR山陰本線の駅、または石見交通バス路線の停留所を含まない場合
特定料金	1回の乗車につき 200円	乗降場所にJR山陰本線の駅、または石見交通バス路線の停留所を含む場合
デジタル定期券料金	2,000円	利用の日から起算して最大30日間有効



てらまえ かつひろ  
寺前 克宏



# A

者が玄関先で乗降すること  
はできないか。  
ドアトドアのサービスについ  
てはタクシーが長距離、大量輸  
送については鉄道や路線バスが  
担当し、『のるイコごうつ』はそ  
の中間の役割を担うものと認  
識している。

# Q

本市の関係人口に対する  
考え方は

# A

地域活動の幅の拡大や活動量の  
増加につなげる人材を増やす



もりもと けんじ  
森元 健二



Q. 市外向けシテipプロモーション  
の課題は。

A. 情報発信での本市の認知度向  
上を、関係人口の創出、移住・  
定住や産業振興などの成果に  
つなげる仕組みの強化が大き  
な課題。

Q. 市民向けシテipプロモーション  
の今後の展望は。

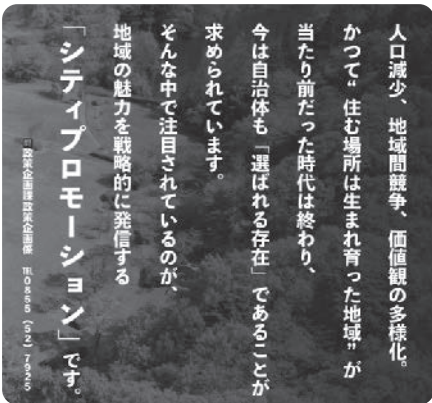
A. 「GO▶GO T S U I」に込め  
た意味を広く市民に発信・浸  
透を図ることでシビックプライ  
ドを醸成し、定住人口や活動  
人口の増加につなげる。市外へ  
転出した場合も、関係人口と  
してつながり続け、関係性を  
構築したい。

Q. 交流人口創出へ、観光を過  
性の来訪で終わらせず、プロ  
モーションで発信している本市

モーションで発信している本市

# A.

本市の観光施策の中で、交流  
人口を関係人口につなげる取  
り組みとして、現時点で具体  
的に取り組みはないが、本市に  
深く興味を持ち、リピーターや  
長期滞在者を確保すること  
は、観光振興を図る上で重要  
と感じている。



広報かわらばん3月号より

# Q

本市の広報戦略への  
中高生の参画実現を

# A

参画してもらおう方向で  
検討を始めている

Q. 2月13・19日に高校生・中学生  
と中村市長とで意見交換が行  
われ、中高生からパレットごう  
つでの自習スペース・トレーニ  
ングルームの確保やICT技  
術を活用した農業への提案が  
あった。提案に対し、令和8年  
度の予算で反映できるものは。

A. パレットごうつでの自習スペー  
スの提案は、予算を伴わなく  
ても実現可能であり、利用予  
約のない会議室について、施設  
管理者に負担をかけない運用  
ルールを整えることを前提に、  
学生や若者の自習スペースと  
しての活用を施設の指定管理  
者と協議し、学生からのルール  
提案を受けた後、内部での検  
討の上で試行したい。

Q. 若者の提案を「単なる意見」  
で終わらせず、政策化する



もりかわ よしひで  
森川 佳英



A. 「若者版政策提言会議」の仕  
組みをつくる考えは。

A. 若者の新鮮な発想や視点の市  
政への反映は非常に意義があ  
るが、現時点で仕組みの構築  
は考えていない。

Q. 外部から人呼び込む広報戦  
略へ、中高生を参画させ意見  
を活かす取り組みの実現を。

A. 参画してもらおう方向で検討を  
始めている。



青陵中学校の発表

# Q

孤独・孤立による  
悪影響の認識は

# A

孤独・孤立は、身体的・精神的  
健康に多大な影響を与える

# Q

どの世代においても孤独・孤立が増えていると感じるが、  
要因の認識は。

# A

働き方やライフスタイルの多様化・インターネットの普及・少子化・晩婚化・非婚化・核家族化・高齢者夫婦世帯や一人世帯の増加などの要因が考えられる。そういった状況から、家族・職場・地域社会におけるつながりの希薄化に伴う地域力の低下など、社会的要因も考えられる。

# Q

令和6年4月1日施行の孤独・孤立対策推進法の内容は。

# A

第4条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、孤独・孤立対策に関し、国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、その区域内における当事者等の状況に応じた施策を策



うえだ けいすけ  
植田 圭介



定し、及び実施する責務を有する」とあり、本市においても当事者などの状況に応じた支援や予防など、孤独・孤立対策を実施していく必要がある。

# A.Q

対象は。

孤独・孤立の状態は、個人の問題ではなく、市民一人ひとりの人生のあらゆる段階において誰でも生じ得る。支援にとどまらず予防も含め、あらゆる人が対象。



内閣府孤独・孤立対策推進室

# Q

「スーパーは誘致しない」との  
認識を改めるべきではないか

# A

地域が持続可能な方策を  
引き続き検討していきたい

# Q

2月の都治地域コミュニティ協議会から市長への要望書に「スーパー誘致」がある。本市の方針とは異なるがどう対応するか。

# A

要望書には多数の要望があり、それぞれ回答を準備中。

# Q

本市が「スーパーは誘致しない」と認識を示したのに要望が提出された。認識を改めるべきでは。

# A

人口減少で地域の購買力が低下し、新規出店はすぐに実現できない課題。地域交通サービス拡充や移動販売事業者とのマッチングなど、買物環境改善を検討する。

# Q

5月の市長選、市内東部では買物対策も争点になり得る。市長選出馬を表明した中村



ただ しんじ  
多田 伸治



市長は、この問題にどう取り組むのか。

# A

要望に応えるには、人口減少への対応が重要で、東部地域活性化も検討を始めている。地域の課題解決に資する持続可能な方策を引き続き検討していきたい。

# Q

東部活性化で思い当たるのは菰沢公園のリブランディングくらいだが、買物対策に有効か。

# A

市長が述べたのは全般の話で、活性化の取り組みはそれだけではない。様々な施策を東部地域でも対応していきたい。



閉店後1年半  
対策は「検討」

# Q

ふるさと納税の今後の展開は

# A

返礼品の改善、ポータルサイトの効果的な活用などを推進



もりわき えつろう  
森脇悦郎



# Q

全国の自治体が、特徴あるふるさと納税の返礼品を用意している。本市の今後の展開は。

# A

寄付を獲得する仕組みは、市内産業の活性化や街の魅力化につながる効果がある。今後、寄付データなどの分析に基づく返礼品の改善やポータルサイトの効果的な活用、戦略的PRなどを推進する。

# Q

他の自治体では、マンホール・ゴミ袋・公用車までも広告媒体になっている例もある。広告やスポンサー収入など、収入源の確保についての考えは。

# A

令和6年度決算で、広報かわらばんや市庁舎1階のモニター広告など、年間170万円弱の広告収入がある。広告掲載によってリスクが懸念される事業者もあり、現状維持に苦戦



市庁舎1階のモニター広告

# Q

PFS(成果運動型民間委託契約方式)といった自治体が事業の成果目標を設定し、その改善度合いに応じた委託料を支払う民間委託の契約形態がある。他自治体では、がん検診の受診勧奨通知を工夫し、受診率アップにつながった例もあるがどうか。

# A

詳細の把握ができていないので、まずは情報収集をしてみたい。

# Q

市民の命と家計を守る予防医療の充実と子育て支援の拡充を

# A

市民の主體的な健康意識の啓発と現在の費用助成を継続する



やまね けんざぶろう  
山根兼三郎



# Q

便潜血検査陽性者の精密検査未受診への対応をどう考えるか。

# A

本市の受診率は72・6%で高い水準だが、保健師による電話などでの受診勧奨を行い、未受診者ゼロを目指して取り組んでいる。

# Q

大腸内視鏡検査の費用助成を実施する考えはないか。

# A

まずは国が推奨する免疫便潜血検査2日法の受診率向上への取り組みを推進していく。

### がんの死亡数の順位(2025年予測)

	1位	2位	3位	4位	5位
男女計	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

### がんの罹患率の順位(2025年予測)

	1位	2位	3位	4位	5位
男女計	大腸	肺	胃	前立腺	乳房
男性	前立腺	大腸	肺	胃	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計予測」(2025)

# 【子どもの

# インフルエンザ予防接種】

予防接種費用は、多子世帯などにとって重い家計負担となっている現状をどう認識しているか。

# A

年齢により複数回の接種が必要となり、多子世帯では同時期に複数人分の費用がかかることから、家計への負担が一定程度生じていると認識している。

# Q

感染拡大防止と子育て世帯の負担軽減のため、予防接種費用の全額または一部補助を新たに導入する考えはないか。

# A

対象年齢の設定や補助額の水準、恒久的な財源の確保など整理すべき課題があるため、まずは県内の実施状況の把握に努めたい。

# Q

カスタマーハラスメントなどの直近3年間での実態は

# A

令和5年からの3年間で9件



うえだ よしお  
植田 好雄



Q カスハラ対策マニュアルを策定すべきではないか。

A 令和8年10月までに、全ての事業者でのカスハラ対策が措置義務とされた。国の措置義務を果たすよう整理をする。

Q カスハラは、個人での対応ではなく、組織全体での対応が求められる。脅迫や強要行為など悪質なものは、通話の録音や警察との連携など、組織的な対応が必要では。

A 迅速かつ適切に救済を図り、弁護士対応や警察への通報など、組織として対応をする。

Q カスハラ防止条例の制定を。最適な措置を整備する。

【市職員の人材確保】

Q 技術職確保は民間との競合



持続可能な行政は、人材確保から

A Q 国スポに向け人材の確保を。庁内の業務の調整、財政面を勘案し総合的に判断する。

A 10年後を見据えた人材育成計画を策定し、研修支援・資格取得支援・職場環境支援の3本柱を設定。在職者のキャリア形成にも活かす内容としている。

が激しいが、人材確保への戦略は。

## 次期改選に向け、委員会のあり方を議論

現在、江津市議会では議会運営委員会、3つの常任委員会、5つの特別委員会があります。次期改選後には議員定数が2人減の14人となることから、委員会のあり方、特に特別委員会のあり方について意見を出し合いました。

### 出された意見(一部)

- 議会だより編集特別委員会は江津市議会だより発行規程・発行要領がある。広報広聴特別委員会は江津市議会基本条例・江津市議会報告会実施要綱がある。そのため、活動することが決められており、特別委員会ではなく常任委員会にするべき。
- 現在の常任委員会の任期は2年と定められており、2年間を通して取り組む課題を設定すべき。
- 調査後、執行部などに対して提言書を出す・条例案を出すなど、最終的なアウトプットがあることが望ましい。

これらの意見を集約し、次期改選後の議員へ引き継ぎ、今後の委員会運営に活かします。

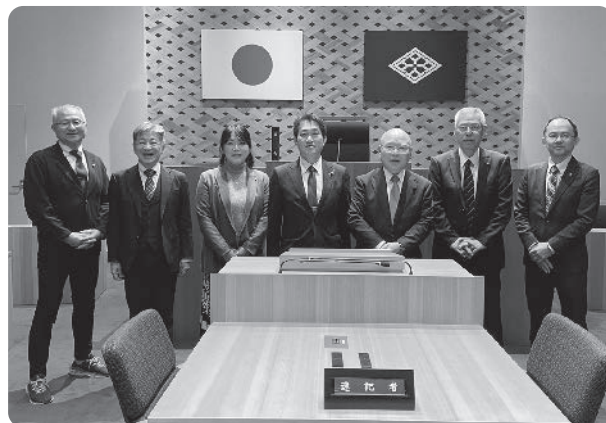
## 健康増進と不登校対策の先進事例を視察

総務民生委員会では、2月3・4日に兵庫県川西市と奈良県大和郡山市を視察しました。

川西市では、介護予防・健康ポイント事業「笑顔ミライちょきん」を調査しました。アプリで活動や歩数を管理し、ポイントを電子マネーなどに還元する仕組みで住民の健康維持を促しています。

大和郡山市では、不登校対策の分教室「ASU」を視察しました。独自の教育課程や「あゆみルーム」での居場所づくり、専門家との連携体制など、子どもに寄り添う支援を学びました。

今回の知見を今後の提言に活かします。



大和郡山市議場



川西市役所



大和郡山市役所

## 市民と共に江津の救急を学ぶ

地域医療対策特別委員会では、1月29日に「救急搬送・救急医療」をテーマに委員会を開催しました。

講師に江津邑智消防組合の平警防課長(当時)、済生会江津総合病院の佐々木医局長を招き、救急医療の最前線の課題を共有しました。

消防からは、人口減少下でも救急件数が減らず(令和6年度江津管内の救急件数は1395件で過去最多)、現場がひっ迫する課題を報告。病院からは、限られた人員で体制を維持する難しさと、適正利用の必要性が語られました。

当日は住民も傍聴し、現場の課題を共有しました。限りある医療資源を次世代へつなぐため、私たち一人ひとりの意識が問われています。



江津邑智消防組合  
平警防課長(当時)

済生会江津総合病院  
佐々木医局長

## 市民と創る地域医療の未来・総括と提言

3月18日の本会議で、地域医療対策特別委員会の活動成果を報告しました。

「行動が不足していた」という反省を踏まえ、全議員が市民の中へ飛び込み、40団体の訪問や20カ所の地域コミュニティ交流センターでの意見交換を実施しました。また、行政や医療関係者とも協議を重ね、対話の場を築けたことは大きな前進です。

地域医療の持続には、制度や予算だけでなく「顔の見える関係」と「継続的な対話」が不可欠です。今後は委員会として、市民主体の「市民の会」設立を支援するとともに、公共交通・在宅医療・介護の連携を強化するよう市長へ提言しました。地域で生まれた「対話のともなしび」を未来の安心へとつなげていきます。

## 若者の還流と暮らしを守る先進事例を学ぶ

建設経済委員会では、1月27・28日に先進地視察を行いました。

安来市では、県立高校の魅力化と定住対策を結び付けた取り組みとして、2人の高校魅力化推進員のもと、地域や企業と連携した体験学習などを実施していました。

津和野町では、住民の請願を受けて買物対策として公設民営スーパーを整備。定住対策として半農半Xへの支援が行われていました。また、津和野高校では、教育を通じて若い人材を町へ還流させる取り組みが展開されていました。



安来市議場



津和野町役場



つわの学びみらい

## 若者が市政に関わるきっかけづくり ～学生と市長・議員による意見交換会と勉強会を開催～

広報広聴特別委員会では、次世代を担う若い世代が市政を「自分ごと」として捉える成長の機会を創出するため、学生参加型の取り組みを実施しました。

令和7年11月の議会報告会を皮切りに、令和8年1月の「議員とのブラッシュアップ勉強会」を経て、2月の「市長との意見交換会」を開催。参加した青陵中・江津工高・江津高・石見智翠館高の生徒たちは、探究学習や社会科などの授業で磨いた考えを、市政の場での提案へと繋げました。

意見交換会は、単に学生の要望を届ける場ではなく、「市長に提案し、対話し、考えを深める」という主体的な学びの場となりました。市長との対話を通じて、地域課題を再認識し、多角的な視点から解決策を模索する経験は、学生にとってかけがえのない成長の機会となったようです。

市にとっても、若い視点から地域の未来を共に考える有意義な場となりました。今後も議会として、若者が社会に参画し、実践的に学ぶ場を大切にしていきます。



江津工高・江津高・石見智翠館高



青陵中学校

江津市議会HP「<https://www.city.gotsu.lg.jp/site/gikai/39240.html>」にも掲載しています。



## 若者が市政に関わる きっかけづくり

広報広聴特別委員会では、次世代を担う若い世代が市政を「自分ごと」として捉える成長の機会を創出するため、学生参加型の取り組み「市長との意見交換会」「議員とのブラッシュアップ勉強会」を開催しました。P.17に詳細を掲載しています。



意見交換中の市長・生徒

## 表彰

### ●江津市政功労者表彰

(議員12年以上)

鍛治 恵巳子



## 次回6月定例会

請願・陳情締切／6月11日正午まで

日	月	火	水	木	金	土
6/7	8	9	10	11	12 会派代表者 会議 9:30～	13
14	15 全員協議会 13:30～	16	17	18	19 会派代表者 会議 15:00～	20
21	22	23 本会議 10:00～	24	25 議員連絡会 9:30～	26	27
28	29 本会議 10:00～	30 本会議 10:00～	7/1 委員会 (総務民生) 9:30～	2 委員会 (建設経済) 9:30～	3 委員会 (予算決算) 9:30～	4
5	6 情報交換会 9:30～	7	8 本会議 14:00～	9	10	11

※開始時間は予定です。

**議会を傍聴しよう**  
江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議会事務局までお越しください。

**議会へ参加しよう**  
市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することができます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

## 編集後記

令和6年から始まった編集委員長としての挑戦も、今号をもちまして任期最後の発行となります。「これまでの形にとらわれず、もっと身近な市議会だよりを」——そんな決意で始まった二年間でした。

就任以来、目指してきたのは親しみやすくわかりやすい誌面づくりです。試行錯誤の連続でしたが、果たして皆さまの心に私たちの思いは届きましたでしょうか。

編集委員の皆さま、そして何より手に取ってくださった市民の皆さまの支えがあったからこそ、使命を全うすることができました。二年分の感謝を込めて、本当にありがとうございました。

(坂田 優美)

市議会だよりは  
こちらから



### ■編集・発行責任者

議長 石橋 孝義

### ■市議会だより編集特別委員会

委員長 坂田 優美

副委員長 渡辺 信明

委員 植田 圭介

委員 坂手 洋介

委員 鍛治 恵巳子

委員 多田 伸治

委員 山根 兼三郎